

方丈の間

令和 8 年 7 月発行天徳寺・観音寺寺報より抜粋

「暑中お見舞い申し上げます」

先日西ヨーロッパで熱波により実に二千人以上の方が亡くなったという恐ろしい報道がありました。それまで涼しかったのに急に四十度を超える猛暑になり急激な変化に人の体が適応する時間がなかった、日本と違いエアコンがあまり普及していない、などの理由が挙げられていました。

山口県では、昨年のこの時期（七月初旬）に比べると今年は比較的まだ涼しくて過ごしやすいですが、これからだんだんと、いや一気に暑くなる可能性もあります。呉々もご自愛ください。

さて、この一月に本堂のエアコンのご寄付をお願いしたところ、多くのお檀家さんのご協力を賜り、予定通り設置をすることが叶いました。誠にありがとうございます。本堂は天井が高く、床下は吹き抜けになっておりますので比較的涼しくはありますが、それでも夏場の午後はとても暑くなります。今まで午前中のみの使用が多かったですが、今年からは午後からも使用しやすくなります。

近年他の曹洞宗寺院では、全部の檀家さんのご自宅にお参りするこれまでの棚経をやめ、お寺に来ていただいて合同での盆法要に移行しているところが増えているようです。これも近年夏場が暑すぎて住職に負担がかかりすぎるということと、お檀家さんのご都合と相まってのことと思われる。

天徳寺でもエアコンが入りましたので、合同の盆法要をすることは可能ではあります。しかしながら、お盆の趣旨を考えてみれば、ご先祖が帰られる場所というのは、やはりご自宅や家族がおられる場所ではないかと思うのです。一年に一度のことです。ご自宅や仏壇周りをきれいに掃除し、整える過程こそが大切です。私たちがお参りするのはそういった機会を作っていただくためでもあります。

今年も一部の地区では、小僧さん（長男と次男）がお参りするところがあります。二人とも得度はしておりますが、まだまだ読経や作法、行儀もなっていないと思いますのでご寛容ください。私自身も同様に小さい頃からお参りさせていただき、皆様にとてもよくしていただいたことが思い出に残っております。何卒よろしくお願いいたします。

合掌

観音寺（天徳寺）住職

森江裕孝